

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちょう

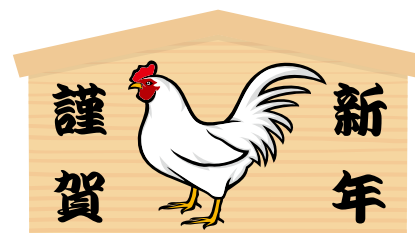
Bird of Paradise

2017
No.
54
31 Jan

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会 編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 発行日 平成 29 年 1 月 31 日



協会メンバーのみなさま 平成 29 年 新年明けまして おめでとうございます



山下 勝男 (当協会会長)

日本・パプアニューギニア協会法人会員・個人会員の皆様、明けましておめでとうございます。年末、正月にかけて関東地方は幸いにも穏やかな天候に恵まれています。地域によっては厳しい寒波に襲われているようです。皆様にはご健勝に平成 29 年新年を迎えられたことと存じます。

昨年中は、かねてからの事業計画に基づいて、「ごらくちょう」の発行、「メールマガジン」の発信、PNG 学生への奨学金給付、「トクトク会」開催、6 月の年次総会・理事会の開催、駐日 PNG 大使館主催の独立記念レセプション及びチャリティー・ゴルフ大会への協力等会員皆様の積極的ご参加ご協力により予定通りの事業の実施ができたことを喜ばしく思います。また 11 月には、村田名誉会長を団長、中村副会長を副団長として団員 16 名からなる第 2 回協会親善訪問団を派遣しましたところ、会員同士の親睦及び草の根レベルでの PNG との交流促進という意味で大きな成果を上げることができました。訪問団は、ポートモレスビーのほか、3 班に分かれてゴロカ、ウェワク、ラバウルを訪問し、それぞれ慰霊碑への参拝、学校訪問で子供たちとの交流・文房具の寄贈、オイスカ視察、観光地訪問等の行事を現地駐在の協会会員の協力を得て実施することができました。今回の親善訪問団のハイライトは、ポートモレスビーにおいて、松本大使のご厚意で歓迎レセプションを開催いただき、ソマレ前首相（現東セピック州知事）はじめ PNG 政界、民間の方々と交流できたことは協会にとって大変有意義で誇らしい出来事でした。この機会を提供いただいた松本大使および日本大使館の方々にこの

場を借りて、厚く御礼申し上げます。

次のような事業は、協会直接の事業ではありませんが、協会の会員でもある実施団体の PNG との友好親善へ貢献された善意に対して深く感謝するとともに、協会としては、その実施に当たって側面的に支援できたことを誇りに思います。すなわち、「町田クレインライオンズクラブ」主催によるチンプ州におけるマラソン大会開催、仙台育英学園によるソゲリ国立高校との姉妹校締結および軍隊隊への中古楽器の寄贈、東部ニューギニア戦友遺族会による衣料品の寄贈が行われたことを会員の皆様にも広く知って欲しいと思います。

本年については、協会本来の事業に加えて、これらの側面的支援事業を円滑に実施するうえでも、協会事務局体制の一層の強化および会費引き上げを含む協会財政問題も検討課題になると考えます。会員の皆様のご協力、ご支援を期待します。

年末には、在 PNG 日本国大使の交代が発表されました。松本大使には、協会事業に対して深い理解と厚いご支援を頂き、有難うございました。会員一同心より感謝申し上げますとともに、今後とも引き続き協会へのご指導よろしくお願ひします。

中嶋新大使は、ソロモン在勤の経験もあり、現地事情に精通した方でもあると承知しています。ご在勤中の日本・PNG 間の一層の親善関係の深化を期待するとともに、協会への変わらぬご支援をお願いします。

協会主催パプアニューギニアへの親善ツアー

中村 弘 (当協会副会長)

昨年7月にニューギニア航空の直行便が週2便に復便され短期の旅行が再び可能となりましたので11月5日(水)から9日(土)迄の5日間村田吉隆名誉会長を団長として会員16名(内女子6名)にて現地親善ツアーを実施致しました。旅程は乗り継ぎでウェワク(8名)・ラバウル(6名)・ゴロカ(2名)の3コースに分散して2泊しその後首都ポートモレスビーに全員集合し1泊して帰国しました。

今回のツアーの目的は観光・親善・慰霊とあり、慰霊はウェワクで一昨年安倍総理ご夫妻が訪れた平和記念公園やミッションヒルで日本酒を供えお線香を上げて参りました。また親善は各訪問地で学校を訪ね先生方や生徒達と面会し日本から持参した文房具を寄贈して参り大変感謝されました。

ポートモレスビーでは松本日本大使のご厚意により大使公邸にて歓迎のレセプションにご招待頂き、大使館員や日本企業の駐在員の方々に現地の親日家の皆さんを加え約35名の方々と親睦を図って参りました。特に元首相で現在も

国会議員で東セピック州知事のソマレさんが国会開催中の忙しい中長女のベサさんを伴いご出席頂きツアー参加者一人一人と言葉を交わし握手して頂き全員大変感激致しました。ソマレさんが今もなお日本を大事に思っている事が感じられ有難く思いました。近場の日本進出企業を訪問しようとラバウルではオイスカインターナショナルが推進する農業指導プロジェクト、ポートモレスビーでは志村当協会副会長が経営される志村ロッジを訪問しました。ここではマウエ元大使ご夫妻が経営を任されて居り我々を温かく歓迎して頂きました。

今回協会ポートモレスビー支部長の伊藤さんをはじめ荏原さん、原田さんにはご自身の仕事でご多忙の中各地で案内役を引き受けて頂き感謝申し上げます。最後にご参加頂いた会員の皆様に改めてお礼を申し上げ、将来こうした協会が主催する現地訪問ツアーが定期的に開催される事を祈っております。



在PNG日本大使館情報

駐パプアニューギニア日本大使の交代

縄田 博 (在パプアニューギニア臨時代理大使)

あけましておめでとうございます。既にご存知の方が多くと思いますが、在パプアニューギニア日本大使館では大使の交代があり、松本盛雄大使は1月7日に帰国しました。これに先立ち、松本大使は、昨年12月にオギオ総督、オニール首相、ソマレ東セピック州知事、パト外務移民大臣をはじめとする政府要人等に離任挨拶を行いました。この際、オニール首相からは、日本の経済協力について、日本のプロジェクトによって雇用が創出され、特に地方を援助する教育プロジェクトの貢献が顕著である旨発言がありました。その上で、松本大使が、日本の投資促進や両国間の経済的関係の推進にも大きく貢献したこと等にも言及があり、両国関係の発展・強化に大きく貢献してきたことに対する謝意の表明がありました。オギオ総督からは、これら

の貢献に加えて、パプアニューギニアの若者が日本の文化に触れることは好影響をもたらすものであるとして、松本大使が、両国間の人的交流や文化交流に尽力してきたことを評価する発言もありました。松本大使の後任となる中嶋敏大使は、1月下旬に当地に赴任予定です。本年も大使館館員一同、中嶋大使の下で日・パプアニューギニア関係をより一層強化できるよう努力を重ねていく所存です。



オギオ総督への離任挨拶

(写真出典：ナショナル紙 HP より)



オニール首相への離任挨拶

中嶋新大使と松本前大使

川口 正義 (当協会理事)

東京千田区駿河台の明治大学紫紺館。

1月12日に行われた新旧の大使の壮行会・帰国歓迎会には40名を超すパプアニューギニアに関係する人達が参集されました。

新大使として赴任される中嶋敏氏は、前任がベトナム・ホーチミンの総領事でおられましたが、過去にはソロモン諸島でもご勤務されており、久しぶりのメラネシアということでした。続いて氏は、遺骨収集の重要性を述べられ、また2018年にはパプアニューギニアでAPECが開催されることもあり、LNGを中心とする経済連携のための友好関係づくりについても抱負を語られました。

一方この度帰任された前大使松本盛雄氏は野外活動ですっかり黒くなられたお顔立ちで、着任中の2年4ヶ月を

語られました。政治や経済もさることながら特に人と人とのつながりが大事で、盆踊りを開催され自ら太鼓をたたかれるなど文化事業に力を入れられたとのことでした。また遺骨収集の重要性についてもお話されました。

山下会長、村田名誉会長、唐沢副会長、堀江顧問、谷口名誉顧問からもスピーチをいただきました。新大使には今後ますます重要になる日本とパプアニューギニアの関係の強化や今まだ当地に残されている8万名の遺骨収集、教育水準を上げるための人材育成についての期待が述べられ、前大使には今までの御活動に対する感謝や先の友好親善訪問団に対する歓待への御礼が述べられました。

中嶋新大使、どうぞお気をつけて。

松本前大使、有難うございました。



松本前大使



中嶋新大使

中嶋 敏 新大使 略歴

静岡県出身

1976年 東京外国語大学中国語学科卒

1977年 外務省入省

(主な経歴)

1978年～1981年及び1989年～1992年 在ベトナム日本国大使館に勤務、その他在ニューヨーク国連日本政府代表部、在英日本国大使館に勤務。

2002年 在ベトナム日本国大使館 政務参事官

2006年 外務省アジア大洋州局南東アジア第一課 地域調整官

2010年 在東ティモール日本国大使館 公使参事官

2013年 在ソロモン諸島日本国大使館 臨時代理大使

2014年4月 在ホーチミン日本国総領事

2016年12月 在パプアニューギニア日本国大使館 特命全権大使

駐日PNG大使館情報

2017年スタート新年祝賀の儀および太平洋島サミット第3回中間閣僚会議

荻原 聖子 (パプアニューギニア大使館 大使秘書)

新年あけましておめでとうございます。

本年も引き続きパプアニューギニア大使館を宜しくお願ひ致します。

さて、大使ご夫妻は、12月23日の天皇誕生日の祝賀の儀に引き続き、元旦の1月1日、新年祝賀の儀にご出席のため、皇居を訪問されました。写真は天皇誕生日当日朝の大使ご夫妻の皇居へ出発前のご様子です。

また、1月17-18日は外務省飯倉公館にて、16か国の外務大臣等の代表が参加し太平洋島サミット第3回中間閣僚会合があり、本国からは、Hon Rimbink Pato 外務大臣が来日されました。岸田外務大臣から太平洋島嶼国と今後とも手を携えて協力していきたい旨述べられ、第8回太平洋島サミットは2018年5月18日に福島県いわき市にて開催されることが発表されました。

今回の会合にあたり、太平洋島嶼国の首席代表による安倍総理大臣表敬も行われ、来年の太平洋島サミットの成功に向けた協力を呼びかけ、また様々な枠組みでの日本からの支援に対して謝意を表明致しました。



日本・パプアニューギニア協会の皆様初めまして。株式会社インデニの足利と申します。先ず始めに弊社の紹介をさせていただきます。弊社は、宮城県仙台市で建築デザイン、インテリアデザインを主体とした企業です。設計から施工までをワンストップで行っております。

私とパプアニューギニアの接点は、東日本大震災がきっかけでした。この未曾有の大震災で、壊滅的被害を受けた学校法人仙台育英学園様の加藤理事長より、PNGからの寄付が日本に届いていて、御礼に何か形に出来ないかと言う提案がありました。そこで被害を受けて建替えを余儀なくされた校舎にある、学習机、椅子、ロッカー等をくありがとうプロジェクト>として送ろうという事になりました。前職で輸出入の仕事にも従事していましたが、コネクションも知り合いもない PNG にどのように対応しようかと大変悩みましたが、日本ビジネスライン株式会社の島田様の力を借りて無事このプロジェクトを行う事が出来ました。その寄贈した学校のなかに、国立ソゲリ高校がありました。

以前より日本語教育に力をいれておられた高校で、学校法人仙台育英学園様とご縁があって姉妹校提携といううれしい展開がありました。



そこで、今回日本語教育を開始するにあたって、我々インデニはソゲリ高校に出向き、現地スタッフとともに建物のリノベーションを行いました。言葉の壁、人種の壁はどこの国に行っても同条件ですが、PNGの人々は非常に明るく、勤勉で、我々の行う仕事に興味津々の様子でした。我々も彼らに教わる事も多く、日本国内では感じられない貴重な経験が出来ました。

これを機に、今後 PNG に関わる場面も多くなってくると思います。これからも PNG を好きになり、それをまだ知らない日本の人々に伝えていく。自分に出来る事は何かを、今回のプロジェクトで気づかされました。

小さな1歩のようで、大きな1歩を踏み出した様な気がします。

協会の皆様からのご協力、ご指導ご鞭撻を今後とも宜しくお願い致します。



事務局からのお知らせ

事務所移転のお知らせ：2月11日(土)に協会は事務所を移転いたします。住所などは次をご確認ください。

東京都中央区日本橋本石町3-2-12
社会保険労務士会館9階
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556
(電話・FAX・E-mailに変更ありません)
最寄り駅は三越前駅、新日本橋駅です。

今後の予定：3月21日(火)に千代田化工建設様による Toktok 会の御講演決定です。詳細は追ってご案内いたします。東部ニューギニア戦友遺族会主催の永代神楽祭は4月5日、靖国神社です。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：38社 ◆ 個人会員：169名 (2017年1月31日現在)

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ